

(第2号様式)

那 特 第 922 号
令和7年 2月25日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立那覇特別支援学校
校長 下地 直子
(公印省略)

令和6年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和6年12月11日付け教県第1582号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和6年7月12日	場所	本校視聴覚室	出席 状況	4名出席
第2回	日時	令和6年12月23日	場所	本校視聴覚室	出席 状況	3名出席、1名欠席
第3回	日時	令和7年2月21日	場所	本校視聴覚室	出席 状況	2名出席、2名欠席

2 学校評議員に求めた事項

- (1) 本年度の学校経営について
- (2) 本校の学校保健安全部、進路指導及びPTA活動紹介、校内研修取組の紹介
- (3) 各学期における学部、学校行事等の取組の様子の紹介
- (4) 令和6年度本校の学校評価集計・考察結果に関する意見・ご助言

3 学校評議員の意見

- ・生徒それぞれの障害特性に応じた社会参加及び自立という文言はとてもわかりやすく説得力があると感じています。
- ・少人数である学校の強みを感じる実践報告でした。
- ・児童生徒の成長はもとより、生徒の個性が生かされ、学習活動が充実していると思われます。子供達の表情が良い。
- ・感染症への対応、徹底した安全管理、先生たちは、生徒の経験を増やすために試行錯誤され、取り組まれていると感じます。
- ・緊急対応、避難訓練、その他、適切に実施されていると思われる。
- ・今後も、修学旅行の意義や必要な行事等で児童生徒がつけられる力(目標)を考え、必要な取り組みを考えていってほしい。「楽しかった」だけではなく、こんな力がついた(みんなと協力する、やりたいことを意思表示できる等)と思える行事の在り方を考えていってほしい。
- ・職員の人数が少なくなっているのが、環境を整えるのに苦労すると思うが、朝の時間や地域の方、ボランティア等の協力(ジブラルタ生命さん等)を考えてみてはどうだろうか。
- ・センター生が主となるので、進路について考えるににくいと思うが、子どもたちの将来について、保護者とともに考える機会にしてほしい。
- ・個々の児童生徒に特化した研修がなされていると思われます。自己研鑽されているのが伝わります。
- ・沖縄スポーツ大会等、少しずつ活動ができたのはよかった。評議員の城間さんの提案があったように地域の清掃活動等と連携を行うと良いと思う。今後も、隣接のセンターや地域の方たちとの交流(ポッチャ大会等)を考えてほしい。
- ・卒業後、学校との繋がりがなくなり、保護者の困り感など出てくるのでは、卒業後のセンターの保護者会の持ち方、どのように行っているのかも確認してほしい。
- ・清掃活動等、地域の方や自治会等との連携も検討してほしい。

4 学校運営に反映した事項

- ・地域との連携・交流方法の工夫。(沖縄看護大学の敷地内への作品展示、看護学生の本校児童生徒の授業見学、本校生徒の看護大施設見学、モスバーガー壺屋店、琉銀寄宮支店等に本校児童生徒の作品等の展示)
- ・隣接する沖縄南部療育医療センターと連携・協力した合同地震避難訓練の実施。
- ・小規模校における学校行事、PTA活動等への保護者の参加方法の工夫。

5 課題その他

- ・児童生徒減に伴う、小規模校における学校、学部の運営方法の創意工夫。
- ・重度重複の児童生徒に対する教科学習の取り組みの充実。
- ・隣接する療育医療センター及び地域の自治会との交流も含めて、さらなる地域との連携・交流方法の検討。